

News Release

2017年6月2日
株式会社日立製作所

日立の超高速エレベーターで分速 1,260m の世界最高速を計測 中国の公的認定機関による速度試験において実証

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、中国・広州市の超高層複合ビル「広州周大福金融中心」向けに納入する超高速エレベーターの速度試験において、分速 1,260m(時速 75.6km)を計測しました。分速 1,260m は、2017年6月現在稼働しているエレベーターにおいて世界最高速*1に相当するスピードです。

「広州周大福金融中心」に納入予定の超高速エレベーターは、定格速度である分速 1,200mでの走行については、2016年5月に実証を行い、この時点での世界最高速を達成し、現在最終調整段階にあります。また、日立はさらなる高速化への追求も行っており、このほど現地で行われた速度試験において、制御装置や安全装置に改良を加えて分速 1,260mを計測し、エレベーターの公的認定機関である国家電梯質量監督検験中心(広東)から正式な速度認定を受けました。なお、本実証実験は、日立の昇降機の技術開発を目的としたものであり、「広州周大福金融中心」においては、実運用時は分速 1,200mでの運転となります。

日立は今回の技術開発の成果を今後の製品開発に生かし、これからもお客さまに走行性能と安全性・快適性を高いレベルで両立するエレベーターの提供をめざします。



広州周大福金融中心の外観

■分速 1,260m エレベーターの特長

(1)分速 1,260m を実現する駆動・制御技術

- ・大出力と、薄型化を両立した永久磁石モーターを開発。
- ・高強度かつ軽量化した主ロープの活用により、巻上機の小型化を実現。
- ・昇降機用として世界最大級容量*2のインバーターを搭載した、省スペース制御盤を開発。

(2)超高速走行を支える安全性

- ・耐熱性に優れた制動材を採用したブレーキ装置を開発。
- ・上昇時と下降時*3異なる定格速度に1台の調速機で対応し、安全確保と省スペース化を両立。

(3)長い昇降行程も安心して利用できる快適性

- ・高速走行においても快適な乗り心地を提供するため、振動を減衰させるアクティブガイドローラーを開発し、かごの上下、左右の4箇所に設置。
- ・気圧の変化に緩急をつける日立独自の気圧制御方式を開発し、耳閉感を緩和。

*1:2017年6月現在、日立調べ。

*2:2,200kVA。

*3:下降時の定格速度は分速 600m。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 ビルシステムビジネスユニット カスタマー・サポートセンター
TEL:0120-508-104 (フリーダイヤル)

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
